



日野市立平山中学校便り

やまぼうし

発行：日野市立平山中学校

校長 中山 良昭

日野市平山4-21-3

042-593-3015

令和6年9月11日 9月号

「目標をもって取り組もう」

校長 中山 良昭

この夏休み中には、パリオリンピックが開催され、皆さんも見ていたことでしょう。選手からは「これまでの努力の成果として、メダルを取ることができてよかった」という声が聞かれました。競泳に参加した池江璃花子さんについて話してみます。

池江里佳子選手は2016年リオオリンピックに高校1年生の時に参加しています。このとき、女子100m バタフライで5位に入賞し、全部で7種目に出場していました。種目で決勝レースの3レーンを泳いだことだけでも快挙ですが、世界の壁は厚く、池江選手にとっては同じ16歳で隣の2レーンを泳いだ銀メダルのベニー・オレクシアク（カナダ）選手に敗れたことは、同じ年の選手には負けたくないという思いを強くし、「その子に勝たないと、金メダルは見えてこない。あと4年、技術面を磨いて、精神力を備えたい」と語っていました。

2019年2月に急性リンパ性白血病と診断され、約10か月入院して、水泳の練習をできない状態ではなく、同年12月まで退院して、その後練習を再開しました。

2021年東京オリンピックに女子400m メドレーリレー決勝に第3泳者のバタフライに出場し、8位になりました。「1度はあきらめかけた東京オリンピックだったのですが、リレーメンバーとして、決勝の舞台で泳げて、すごく幸せだなと思います。」と発言しています。

今年のパリオリンピックでは、女子100m バタフライの準決勝に出場し、6着となり、決勝進出はできませんでした。レース直後のインタビューで、次のように話しています。

「結果が出ればいちばんよかったが今は現実を受け止めたい。人って悔しさを経験をしないと成長できないと思うし、今はそう思うしかない。オリンピックは選ばれた人しか立てない場所だし、選ばれた人しか経験できない雰囲気なので、この経験は一生のものだ。次に自分が何をしなければいけないのかちゃんと考えて、落ち着いて行動したい」と4年後のオリンピックに向けて、決意を新たにしていました。努力したことが結果につながるとは限りませんが、目標に向けて取り組むことは大切なことです。

2学期には、合唱コンクールや修学旅行などいろいろな行事があります。学習面や生活面でも自分の目標を決め、充実した学校生活を過ごしましょう。

生徒会役員選挙

生徒会役員選挙が9月6日（金）に行われました。
定員5名のところに6名の生徒が立候補し、選挙になりました。2学期に入ってから、登校時に玄関で選挙活動を行ったり、朝学活で教室を回って公約を話したりしていました。「生徒一人ひとりが、過ごしやすい学校にしたい」や「より良い学校にするために取り組んでいきたい」という話をしていました。生徒会役員に当選した人を学校全体で応援していきましょう。



中学校で給食をつくろう

「中学校で給食をつくろう」という会を7月31日（水）に実施しました。生徒・保護者9名が参加し、栄養士や給食の調理員とともに、プルコギ丼・きゅうりのごま醤油あえ・すまし汁・プリンを調理室で調理していました。とても上手にできあがりました。



部活動の記録

サッカー部 日野市長杯争奪中学校サッカー大会

第3位 日野第三中学校・平山中学校合同チーム

吹奏楽部 東京都中学生吹奏楽コンクール B組 金賞

バレー部 日野市民体育大会 優勝

日野カップバレーボール大会 第3位

9月の主な行事

9月13日（金） 保護司の方のお話を聞く会（2年全）

9月20日（金）～22日（日） 修学旅行（3年全）

9月26日（木）～27日（金） 中間考査